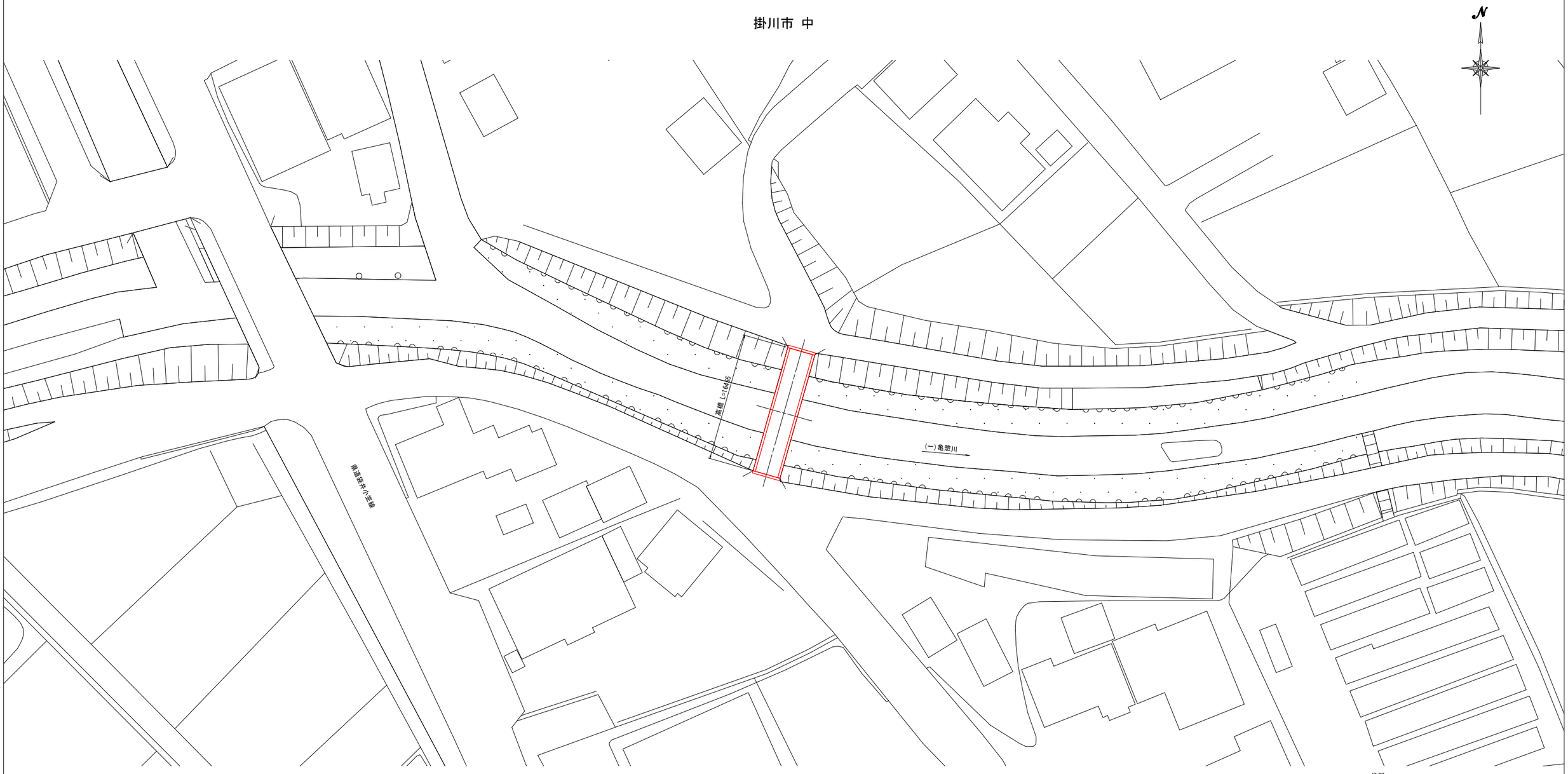
平面図

S=1:250(1:500)

掛川市 中



注記

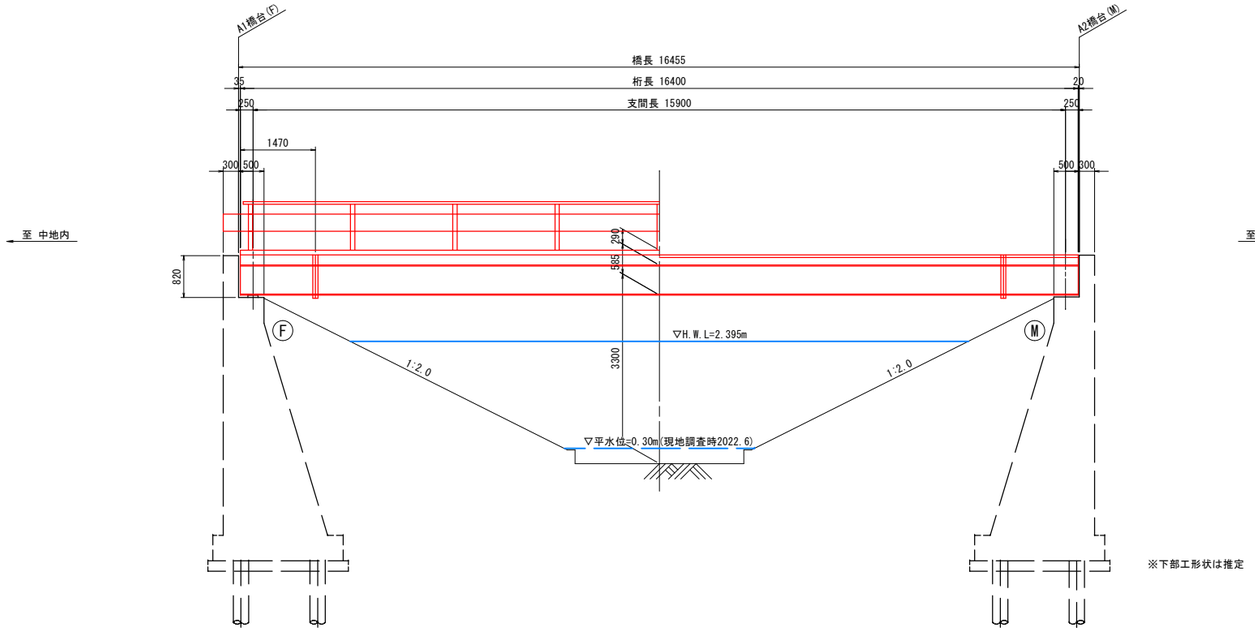
1) 本図は，地形図を用いて作成したものであるため，実測でないことに留意すること．

【高橋】

工　事　名	令和7年度　道路橋梁維持事業 高橋2橋梁補修工事		
工事箇所	掛川市 中 地内		
図面の種類	平面図		
縮　尺	S=1:250 ( )内はA3版	図面番号	5　葉中　1
測量年月日：		設計年月日：	
事務所名	掛川市役所		

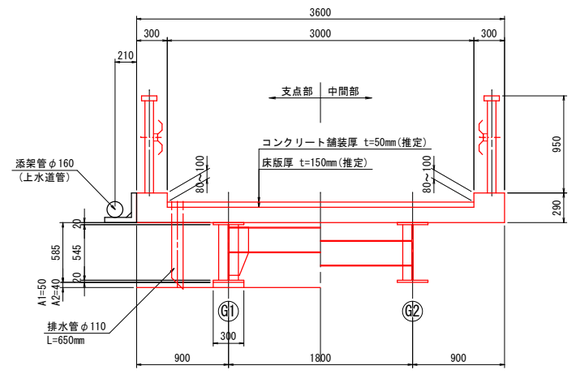
高橋橋梁一般図

側面図 S=1:60(1:120)

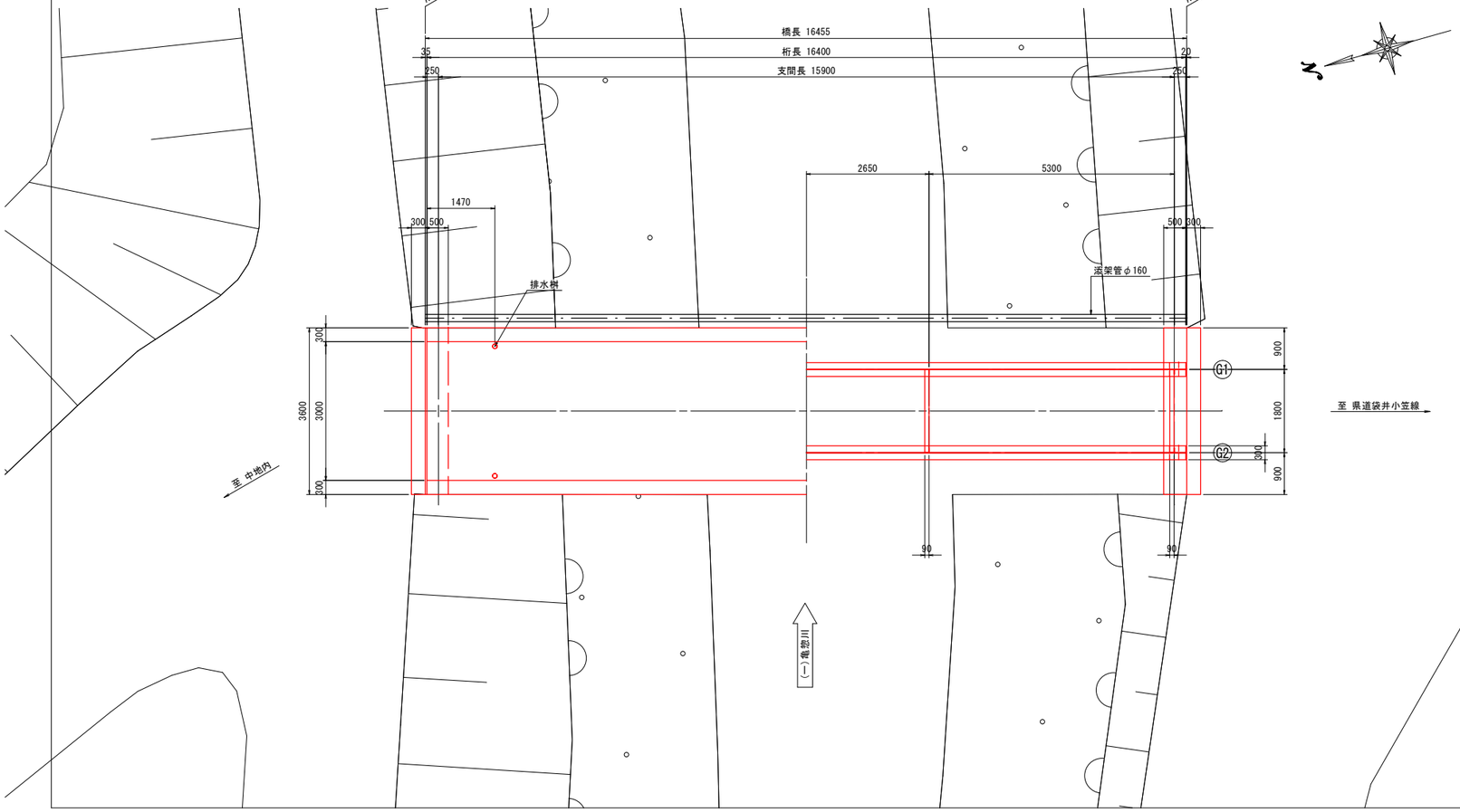


※下部工形状は推定

断面図 S=1:30(1:60)



平面図 S=1:60(1:120)



下部工正面図 S=1:60(1:120)

設計条件表(既設橋)

路線名		市道35号線	
設計速度		不明	
交通区分		不明	
計画交通量		不明	
河川名		一級河川亀惣川	
上部工	設計活荷重	不明	
	形式	鋼単純非合成鈑桁	
	橋長	L=16.455m	
	桁長	L=16.400m	
	支間長	L=15.900m	
	桁高	H=0.585m	
	幅員	W=3.600m(有効幅員=3.000m + 地覆0.300m × 2)	
	平面線形	R=∞	
	縦断線形	不明	
	横断線形	不明	
	斜角	90° 00'	
	舗装	コンクリート舗装	
	支承	簡易ゴム支承	
	支承条件	A1: 固定 A2: 可動(推定)	
	主要材料	不明	
下部工	躯体形式	A1: 重力式橋台(推定) , A2: 重力式橋台(推定)	
	基礎形式	A1: 杭基礎(推定) , A2: 杭基礎(推定)	
	使用材料	部材区分 / コンクリート / 鉄筋	
		躯体 / 不明 / 不明	
		基礎 / 不明 / 不明	
適用基準書		昭和39年鋼橋設計示方書(1971年改訂)	

注記

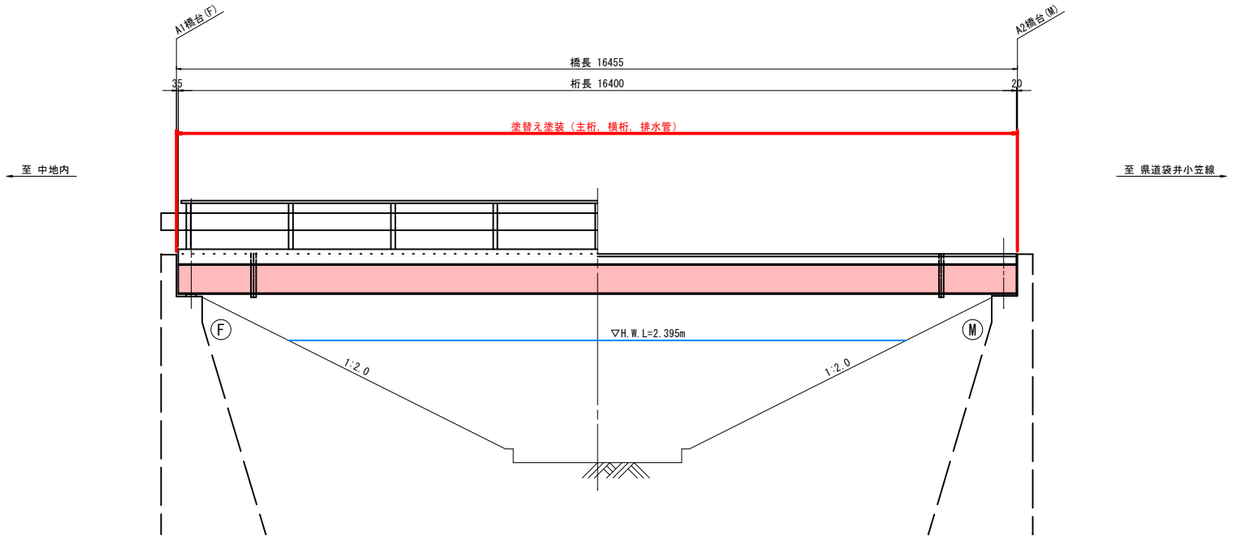
1) 本図は，橋梁台帳および現況調査結果を基に作成したものであるため，工事の際は必ず現地計測を実施すること．

【高橋】

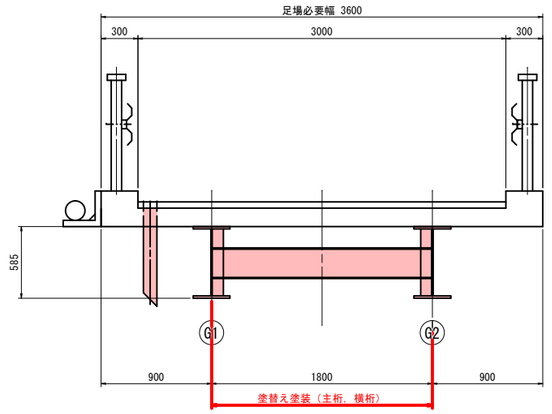
工事名	令和7年度　道路橋梁維持事業 高橋2橋梁補修工事
工事箇所	掛川市 中 地内
図面の種類	高橋橋梁一般図
縮尺	図示 ( )内はA3版
図面番号	5　葉中　2
測量年月日：	設計年月日：
事務所名	掛川市役所

補修一般図

側面図 S=1:60(1:120)



断面図 S=1:25(1:50)



平面図 S=1:60(1:120)

橋梁補修概要

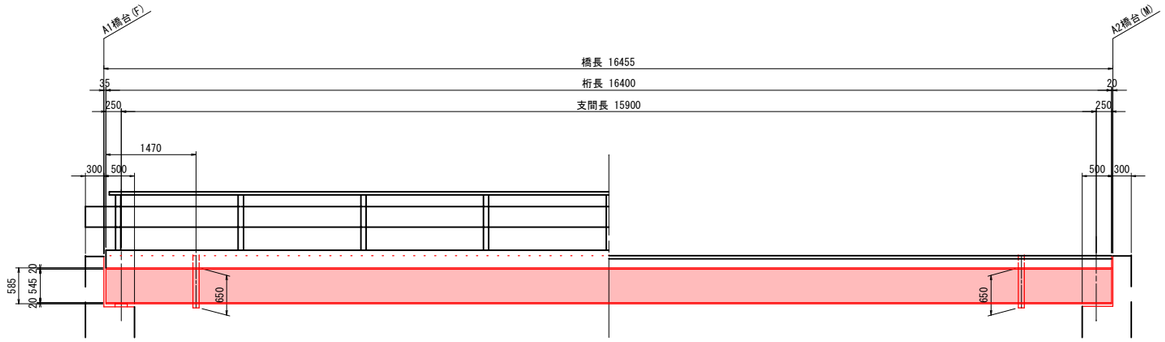
塗替え塗装	主桁，横桁，排水管の塗装面を素地調整(1種ケレン)した上，塗装を塗り替える．

【高橋】

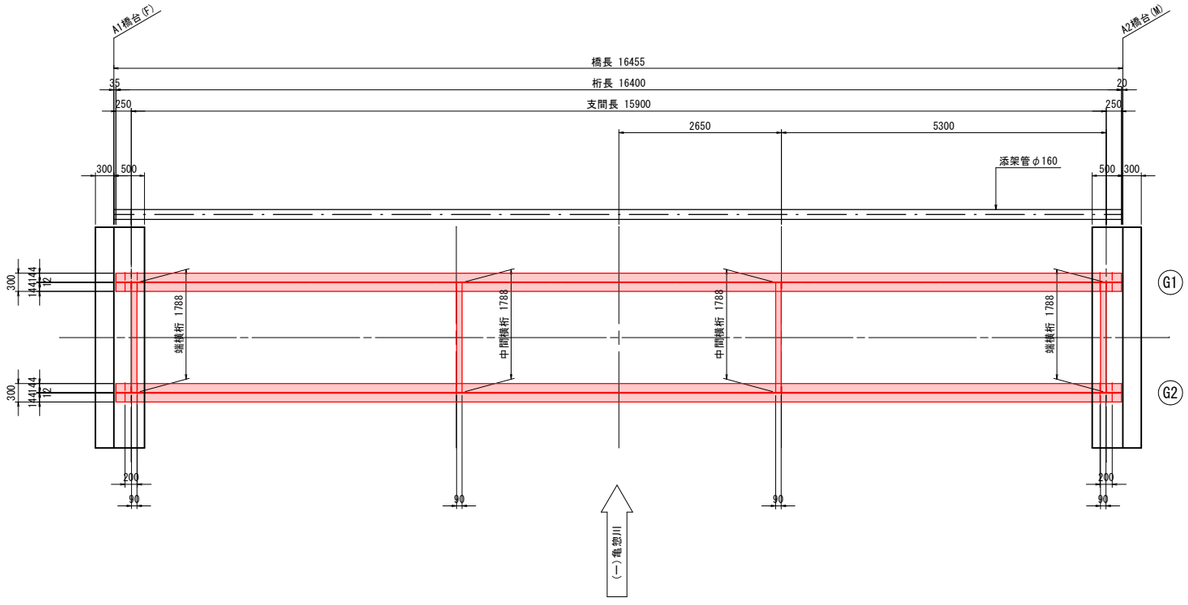
工　事　名	令和7年度　道路橋梁維持事業 高橋2橋梁補修工事	
工事箇所	掛川市 中 地内	
図面の種類	補修一般図	
縮　尺	図示 ( )内はA3版	図面番号　5　葉中　3
測量年月日：		設計年月日：
事務所名	掛川市役所	

塗替え塗装構造図

側面図 S=1:50(1:100)

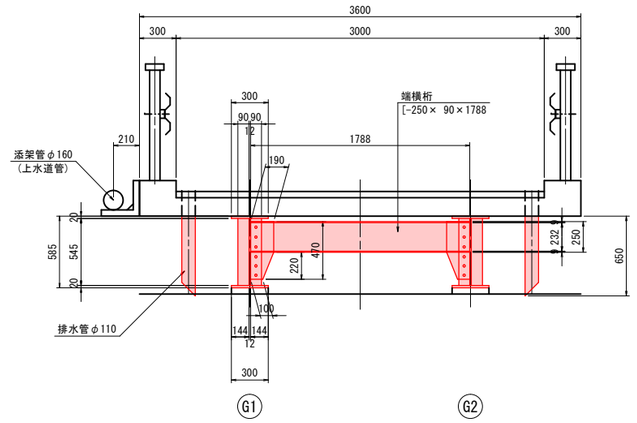


平面図 S=1:50(1:100)

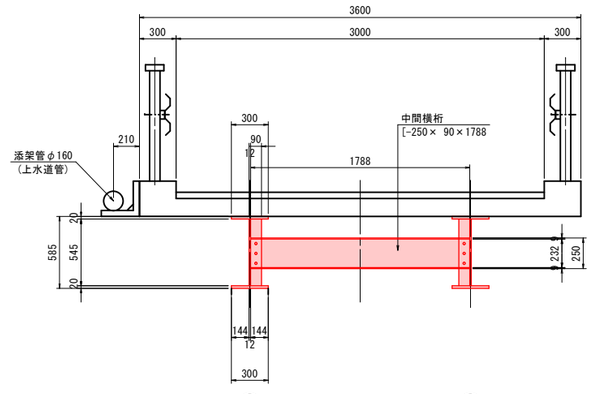


断面図 S=1:25(1:50)

(支点部)



(中間部)



塗装塗替え仕様一覧表 (Rc-Ⅰ塗装系)

工　程	素地調整程度・塗料一般名称	使用量 (g/㎡)	標準膜厚 (μm)
素地調整	1種：循環式ブラスト (さび，旧塗膜を完全に除去し，鋼材面を露出させる)	—	—
下　塗	有機ジンクリッチペイント	600	75
	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	60
	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	60
中　塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	30
上　塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	25

※素地調整(1種)は，除せい度Sa2 1/2相当とする

塗装面積数量表

部材	箇所	寸法 m			面数	NET %	員数	塗装面積 m2	備考
主桁									
	UFLG	0.300	×	16.400	1		2	9.84	
	UFLG控除	-0.012	×	16.400	1		2	-0.39	WEB厚
	WEB	0.545	×	16.400	2		2	35.75	
	LFLG	0.300	×	16.400	2		2	19.68	
	LFLG控除	-0.012	×	16.400	1		2	-0.39	WEB厚
	LFLG控除	-0.300	×	0.200	1		4	-0.24	支承部
	V.STIFF	0.090	×	0.545	2		12	1.18	
端横桁									
	[	0.250	×	1.788	2		2	1.79	
	〃	0.090	×	1.788	4		2	1.29	
	[控除	-0.090	×	0.250	2		4	-0.18	補剛材部
	GussPL	0.190	×	0.470	2	0.89	4	0.64	
	GussPL控除 1	-0.190	×	0.250	2		4	-0.38	横桁部
	GussPL控除 2	-0.090	×	0.220	2		4	-0.16	補剛材部
中間横桁									
	[	0.250	×	1.788	2		2	1.79	
	〃	0.090	×	1.788	4		2	1.29	
	[控除	-0.090	×	0.250	2		4	-0.18	補剛材部
ボルト									
	H.T.B M22	2.570	÷	1000	1		36	0.09	頭側
	H.T.B M22	4.130	÷	1000	1		36	0.15	ﾅｯﾄ側
排水管									
	φ110	π	×	0.110 ×0.650	1		4	0.90	
合計								72.47	

注記

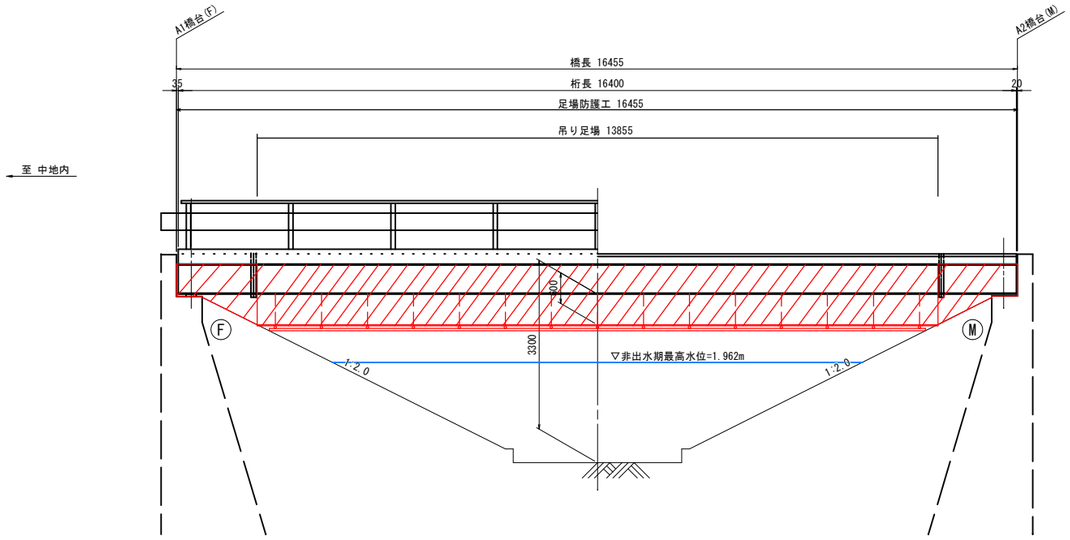
1) 本図は現況調査時に簡易計測した寸法を基に作成しているため，施工前に現地を再計測した上，工事数量等に反映していただきたい．
2) 塗装履歴が無いため，既存塗膜の塗装仕様は不明である．
3) 含有量試験の結果，既存塗膜は基準値を超える鉛及びPCBを含むため，作業員の安全や周辺環境に配慮し，粉塵対策等を講じること．
4) 施工前に既存塗膜の溶出試験を実施すること．溶出試験の結果，既存塗膜に含まれる有害物質が基準値を超える場合，塗膜カスは特別管理型産業廃棄物に該当する点に注意する．
5) 橋梁下流側の添架管(水道管)は，地覆側面に添架されているため，素地調整時の支障とはならないが，仮設足場等を設置する際には，破損させないよう注意すること．

【高橋】

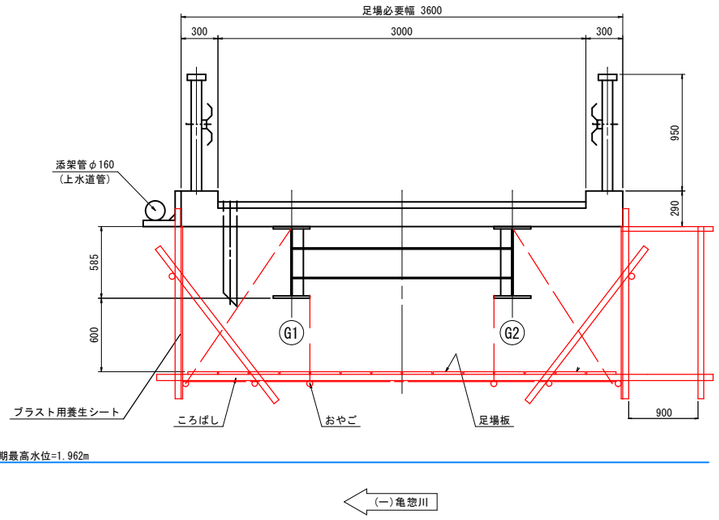
工　事　名	令和7年度　道路橋梁維持事業 高橋2橋梁補修工事
工 事 箇 所	掛川市 中 地内
図面の種類	塗替え塗装構造図
縮　尺	図 示 ( )内はA3版
図面番号	5　葉中　4
測量年月日：	設計年月日：
事 務 所 名	掛川市役所

施工要領図(案)

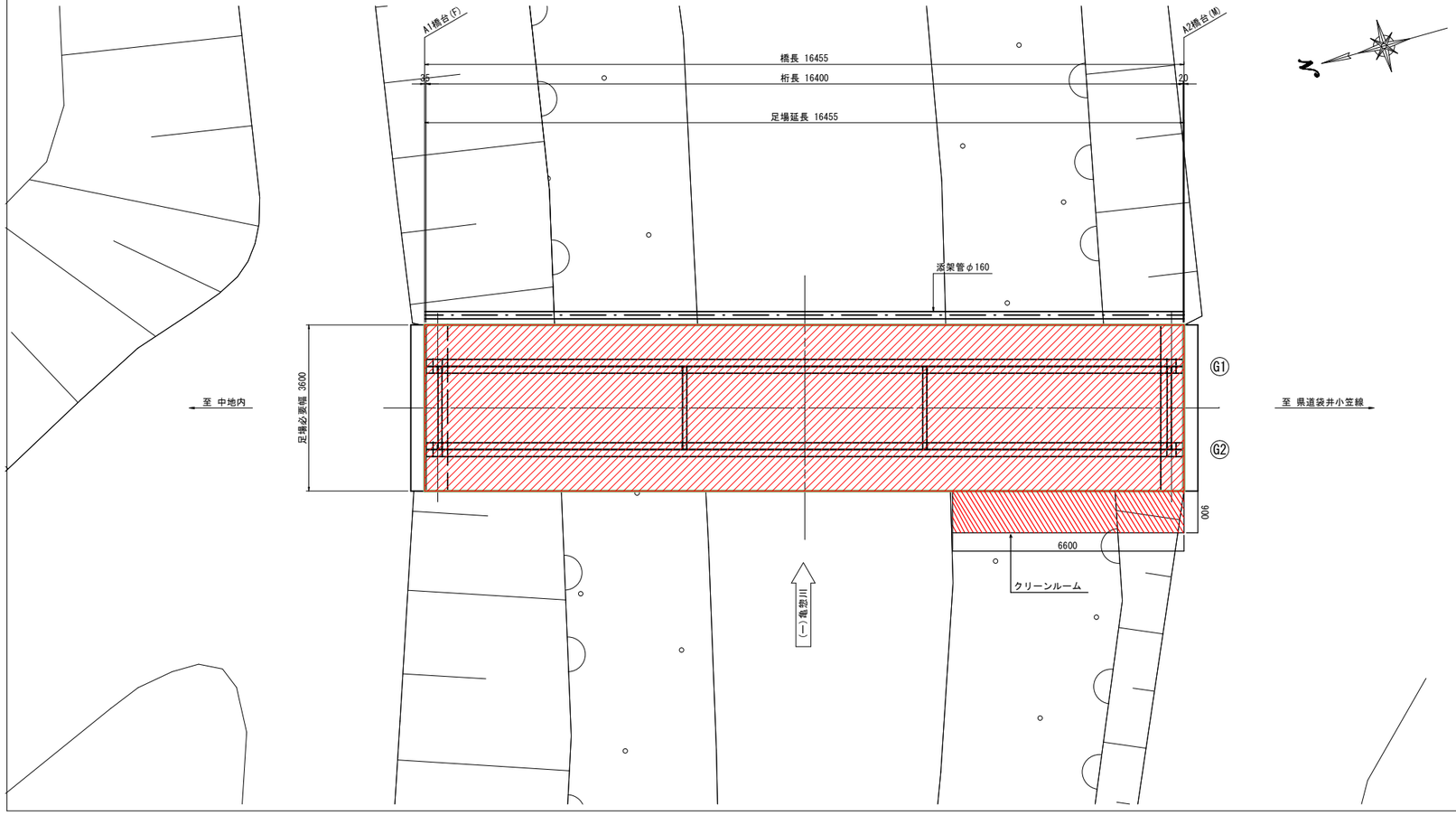
側面図 S=1:60(1:120)



断面図 S=1:25(1:50)



平面図 S=1:60(1:120)



仮設工数量表

種 別	細 別	計 算 式	単位	数 量	摘 要
足場工	吊り足場	13.855×3.600=49.878m²	m²	49.88	
足場工	足場防護工	16.455×3.600=59.238m²	m²	59.24	
		0.900×6.600=5.94m²	m²	5.94	クリーンルーム

注記
1) 本図は既存資料および現地調査結果をもとに作成している.
2) 本図は参考図であり, 施工方法を指定するものではない. ただし, 仮設構造物等に変更が生じる場合は, 監督員との協議の上, 決定すること.
3) 本図は「橋梁架設工事の積算」を参考に作図しているが, 桁下面から足場板上面までの離隔は, 作業性に配慮し, 0.6mに設定している. なお, 当該計画にて施工が困難となる場合には, 適宜変更すること.
4) 橋梁下流側の地覆側面に水道管が添架されているため, 施工時に破損させないよう注意すること.
5) 施工時水位は非出水期(11～5月)の既往最高水位(篭田橋水位観測所)をもとに設定している. なお, 施工時は最新の水位記録にて施工時水位を再検討すること.

【高橋】

工 事 名	令和7年度 道路橋梁維持事業 高橋2橋梁補修工事
工 事 箇 所	掛川市 中 地内
図面の種類	施工要領図
縮 尺 図 示 ( )内はA3版	図面番号 5 葉中 5
測量年月日：	設計年月日：
事 務 所 名	掛川市役所